

**不耕作地の
実態と問題点**

口田邦男議員

町内には依然として不耕作地が存在している。面積はどのくらいか。問題点は何か。

土地の有効利用の必要性について、考えと対策を伺う。

深沼農業委員長

把握している耕作放棄地は26・8ヘクタールほど。

近年、新卒等の農業後継者も多く、農業者の規模拡大志向も強いなか、農地の保全と有効利用が非常に重要で、農業委員会が一丸となり、解消に向け努力したい。

高薄町長

地域内で解決に向け話し合いが進んでいると聞いていますが、飼料作物が高騰し、バイオ燃料の原料も耕作しなければならず、有効活用をしっかりと考えなければならぬ。

**農業所得の
減少による
町税等の影響は**

口田邦男議員

昨年、町内農業は豊作年だった。しかし、品目横断的経営安定対策、燃料・配合飼料の高騰により、農業所得は予想以上の減少となり、町税、保険税等への影響は大きい。第二次緊急3か年計画の見直し時期が来るのではないか。

高薄町長

試算では、農業関係の所得そのものが前年比57%減。平成20年度予算の農業所得にかかわる個人町民税は2780万円程度とみており、その約10%減になるのではないかと。品目横断的経営安定対策事業は生産者によく思われていないため、改善されると聞いており、大幅に変わる状況なら第二次緊急3か年計画の見直しをしなければならぬ。

**町内会等、
地域社会と
行政のかかわり**

森田慎治議員

町民の方々が安心、安全な暮らしができる生活環境を整えることは行政の責任であり、また、住民自らも責任を分かち合い、関心を高め、取り組むことが必要である。

①住民が安全、安心して暮らせる生活環境は十分か。現状をどのように受け止めているのか。

②老人、障がい者、子供たち、これら生活弱者といわれる方々は、自ら又は家族で守るには限界がある。事故に巻き込まれないためにも、互いに見守り、声をかけ支えあう地域づくりが必要で、行政も一体となり取り組むべきと思うがいかがか。

高薄町長

①関係機関の多大な協力をいただき安全対策をしている。警察署管内3町の

なかで事件は本町が圧倒的に多く、昨年も防犯パトロールの出勤回数を増やしており、引き続き安全な生活環境をつくっていきたい。

②本町には認知症サポートー全国100万人キャラバンのキャラバンメイトと認知症サポーターが約50人おり、徘徊、高齢者等SOSネットワークの組織づくりをしていく必要がある。

三澤教育委員長

児童生徒の安全対策は、学校での防犯教室や避難訓練の実施、PTAによる交通安全街頭指導、関係機関との連携による清水っ子見守り隊の防犯パトロールなどを行っており、子供たちの登下校時の巡視、安全指導に努めていきたい。

**町の景観維持に
努力を**

森田慎治議員

清水町に来ていただけ

る居住環境を整えていくことが大切で、自然環境と道路網をはじめ交通には非常に恵まれており、これを活用すべきである。

しかし、38号線、27号線沿いに見られる撤退し荒廃した企業跡地、廃屋は、景観、町のイメージを著しく損ねるもので、早急かつ積極的に取り組むべきと思うがいかがか。

また、公営住宅の空き家は居住環境に問題はないのか。西都、清和両団地は築年数も古く、一棟丸ごと空き家もある。どのように受け止められ、今後どう対処されるのか伺う。



国道沿いにある企業跡地や廃屋は景観や町のイメージを損ねている

高薄町長

国道38号線沿いに大きな構築物、ドライブイン、工場の跡地などが目立っており、企業の所有物で話しているが、思うように壊していただけない。消防から火災が起きたら危険と指摘しており、理解いただくように指導していきたい。

清和団地38戸、西都団地15戸が空き家になっている。公営住宅は団地ごとに建替え、譲渡処分が義務付けられ、現状のなかでは建替えは困難で凍結している。いつまでも凍結してはならないため、財政の状況を見ながら建替えをしなければならぬ。

**町民の暮らしは
たいへん**

妻島公一議員

町長は、町民と目線を同じくし、町民生活重視の財政運営に徹すると述べられている。